

事務事業評価シート

事業種別	新規	補助	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
87	任意事業		会計		
基本施策	06	高齢者の健やかな生活を支える	款		
施策	2	相談体制の充実	項目		
			細目		
			細々目		
基本計画該当頁	72	担当部課	コード	130800	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		名称		地域包括支援センター	増永由美
					連絡先
					26 - 1521 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	伊賀市に居住する高齢者。 (対象件数)	地域の困りごとの発見、聞き取り、窓口への橋渡しなどを行うことにより、あらゆる相談に対応できる。
開始年度	平成 19 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		伊賀市高齢者ふくし相談室運営事業実施要綱
事業内容	要介護高齢者に関する保健、福祉及び医療の相談 要介護高齢者の実態等の把握 各種の保健及び福祉サービスの適用に係る連絡調整 地域包括ケアネットワークの構築への協力 その他要介護高齢者及びその家族の福祉の向上	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	() 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
相談件数(保健・福祉及び医療等)	件	目標 実績	目標 実績	3,600	4,200
要介護高齢者の実態等把握(必須事業)	人	目標 実績	目標 実績	500	500
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
保健・福祉及び医療等の相談	あらゆる相談に対応できる相談支援体制の強化を図る。	件	目標 実績	目標 実績	3,600	4,200
要介護高齢者の実態等把握	市民の相談の利便性を向上し、きめこまやかな福祉ニーズの把握を目指す。	人	目標 実績	目標 実績	500	500

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	地域の困りごとの発見、聞き取り、窓口への橋渡しなどを行い、あらゆる相談に対応できる相談支援体制の強化を図る。
有効性	4	高齢者ふくし相談室を行うことにより、高齢者及びその家族の福祉の向上を図ることができる。
達成度		
効率性	4	新規事業であるため、高齢者ふくし相談室の事業における事業費の低減については、事業内容等を検討しながら取組んでいく。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容				
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)		
委託							委託料	8	1,500	12,000	委託料	8	1,500	12,000	
工事															
進捗率(%)															
事業投入人員		人件費(B)	人	0	人件費(B)	人	0	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440
フルコスト(A)+(B)			0	0		0		13,440		13,440			13,440		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	0	0	12,000	12,000
Aの財源内訳	国庫支出金			4,860	4,860
	県支出金			2,430	2,430
	地方債				
	受益者負担				
	その他			2,280	2,280
	一般財源	0	0	2,430	2,430
	計	0	0	12,000	12,000
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等			1号保険料19%・国交付金40.5%・ 県交付金20.25%・市20.25%	1号保険料19%・国交付金40.5%・ 県交付金20.25%・市20.25%